大正十年四月二十二日第三種郵便物認可　昭和三年十一月廿二日　磐城新聞　〔木曜日〕　第二千三百九十五號　（一）

（廿一日夕刊）

磐城新聞

休刊　大祭第一第三日曜
定價　壹枚二錢、壹ケ月五十錢、郵稅十錢
廣告料　一行三十錢（指定廿錢增）
發行兼編輯印刷人　蓮沼龍輔
發行所　福島縣平町田町拾六　磐城新聞社　電話五六四番

文藝

創作「姉」（一）

室井武雄

仲二が酷暑の東京から病氣で歸鄕したのはやつと樂しい盆が過ぎたばかりだつた。一番農閑期にかゝつてゐて母も姉も手暇だつたので、叮嚀に看護して呉れたまる三年といふもの仲一は東京に在つて家に生活費を送つてゐた。それも東京に姉が嫁いでゐたので、そこに寄寓して某會社に勤務し自分の小遣を除いた全部を送ることが容易に出來るのだつた。

所が四月あたりから脚氣に罹つて到底東京では全治し難くなつたので、轉地療養を兼ねて久しぶりに歸て來たといふわけだつた。

又十三年前仲二が六才の時父が病沒して以來何かとなく母と協議し合つては、一家を切り盛りして來た氣苦勞が病氣になる一つの原因だつた。そうして一月半たつた九月仲二の病氣は大抵愈れてゐた。毎日母姉と三人暮しの和氣あい／＼と睦しい生活は樂しかつた。

「上手のおそゑは姙んだらしいがほんとうだあんめいか、そして情人は誰だべねなあ」こんなことを口すがない誰彼となくが云ひ出してから村人は始終寄ると觸るとこの話をした。上手とは仲一の家のことでそのおそゑとは仲二の姉が云ふのであつた。それは稲刈りが漸く初まつて田圃、諸處にはでが結ばれて黄色い稲の穂先きが逆様に懸けられる頃であつた。村人は誰も彼も田圃に働くので自然こんな面白い話は擴がつて三日と經たぬ中に村中の大評判となつてしまつた。

或る日仲二が一寸した用事で隣り村まで行く時或る一軒の家で聲高にこんな話をしてゐるのを聽くともなしに聽いてしまつた。仲二は昂奮を覺ゆると與若いなつて用事はそのまゝにして家に取つて返した。と其の時は平常など來たこともない親戚の伯母が坐り込んでゐた仲一の母親と小聲でひそ／＼何やら語つてゐたがすか／＼と足音荒く歸つて來た仲二を見ると「そんな譯でゆつくり考ねさつせ」といふと、そこ／＼に仲二に向つて挨拶すると歸つて行つた。伯母の足音が聽えなくなると、仲二は四邊を見廻してから「伯母さんは何用で入らつしやつたの」それから姉さんは」と訊いた。母は歸つて來た仲二など氣にもかけてゐないふうに何やら考ねてゐたが仲二にこう訊かれると直に何時もの明い顏になつて仲二をみつめた。

「あゝおそゑは裏畑え菜摘みだよ」母はこういふと再び默つてしまつた。「伯母さん何用で」仲二がまた云ふとした時「一寸話があるから」と母は仲二に云つた。「あゝ僕も母ちやんに聽したいことがあるんだよ」仲二は無雜作に坐り乍ら云つた「何を？」母は奇異の眸を向けると問ふた

「あのね――まつ姉の家の前を通ると時聽いてしまつた――姉さんが姙娠してゐるつて」仲二は一息、こう云つて母の顏をみつめた。一瞬間母の顏は曇つてそれ憂ひに閉されて來たことが明瞭と仲一には判つた

「そう――お前まで聽いたの困つたことだね」母の手は無意識に動いて煙管を振つた。そして煙草をつめゝ二三服喫ふとそれを傍へ置いた。

「お母ちやんも聽いたの？」仲一は小聲で訊いた。

「そう――たつた今伯母さんから」母は力なくうなだれて答ねた「それでこれからどうするの姉さんにはまだしつかりと訊いてないんでせう」仲二は意氣込んで云つた。仲二には自分や一家又親戚の不名譽なことだぞ思ねば安閑としてゐられない樣な焦燥を感じた。何處までもその眞相を問ひ訊ねば氣が晴れないと思つた。父は仲二が六才の時死んでこの頃十三回忌の法要を營んだ計りだと思ふとき父に對しても申譯ないと思つた。仲一にはまた十八才でこんな話をするのは早熟たことだかもしれないが、十三才位から母の相談相手になつて一家を切り盛りして來たのを考えるとあながち早熟たこととは云ひ得なかつた。

「おそゑからもよう訊いて見てからのことにしてお前は知らないふりをして默つてゐな、おそゑはお前の氣苦勞を察して何時も濟まない／＼と云つてゐるのだからね」母にやさしくこう諭されると仲二にはなんとも云ひ得よう術はなかつた

「あんまり嚴しく問ひ訊さないでね」と口に出さのだつだ。仲一は矢張り情に脆い性質だつた、始めはどんなに意氣込んでゐても肉親のましてや自分の病氣を看護してくれた優しい賢姉ことなのだと思ふとつい姉思ひの言葉が出るのだつた

「何事も惡運だと思つて怒つたり慨いたりしちやあ駄目だよ」母の小さい瞳には大きい涙が浮んでゐた

「母ちやんも心配しなひね」仲二がこう云つた時姉のおそゑが野菜を籠に一ぱい入れて歸つて來た。

明日の暦
新暦　十一月二十二日
舊暦　十月十一日

▲一白　活氣は十分あれど空景氣に終らぬ樣注意▲二黒　出先に故障の頻發するは萬進む事は凶▲三碧　世の雲行に卷き込まれず營々と勵むべき時▲四綠　氣のみ忙しくして結果は却て面白からぬ日▲五黃　働きい目に見へぬとも氣を腐らす事なかれ▲六白　心の角を取りて何事にも圓滿を主とすべし▲七赤　順調に見へても外より破れが生じ易し注意▲八白　上にのみ氣を奪はるれば足許はおろそかになる▲九紫　八方に目を配り障碍を除きつゝ徐進すべし

講談　幕末秘帖　狂恋乱（94）

渡邊默禪作　宮野歌春畫

「私も氣が氣でねえ、どんな間違だか知らねわが、生きてゐるものなら、何も頭から心配するにも當たらず又た雪江さまにした處で尼になるなかと騒ぐにも及ばねえから、一つ樣子を聞いて見ようと思つたが摺ちがつた舟だからどうすることも出來ねね、仕方なしに川岸へ着いてから、又た亦た乘りかへして跡を追蒐て見たが最う雲霞よ、で一刻も早くお前さんに知らせて喜ばせようと思つて、直ぐ駈付けて來たんだが、頭その石塔は如何する敗壞すのも面倒だから、寧そのことお前のその戒名を讓り受けたらどうだ」

「占めたッ」

音は突然躍り上つた

「たい、與平さん、お前、一人でゆつくり飮で呉い、俺アちよいと急ぎの用があるから出て行くよ」

慌てゝ羽織を引つかけるが急にニコ／＼

「おい何處へ行く？……トツパクサと急込んで、如何したのだ」

「イヤ、藤屋がな、娘の別莊にゐるか、娘が生きてゐることを、ジノ、何だ、梅の野郎へ知らせてやつて嬉しがらせようと思うんだア有難え／＼、與平大明神さま、／＼」

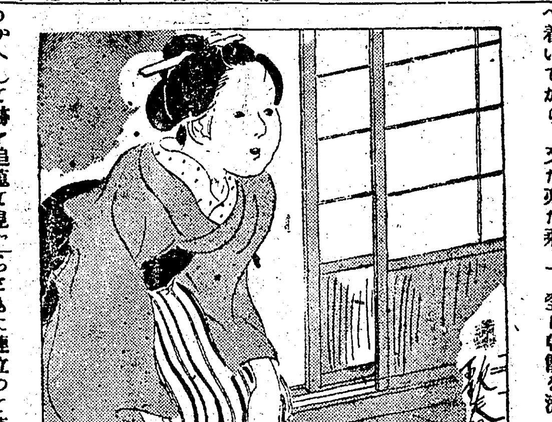
「何を言ふのか、さつぱり解らねね、お前の娘が別莊……梅へ知らせる……オイ確乎しなよ、何だか變だせお前の樣子が……」

「變にもなるさ、それが惡けりや殺せッ」

「アハ、、、手が着けられねえ」

幾んど狂せる如くである

與平は始めて、お君の事情を聞いてそれも無理ならぬことゝ同情した。そういふ譯ならば自分も同道して實際の模樣を話してやらう藤屋といへば此事には大關係のある家、自分からも主人夫婦へ知らせたい、それにしても今夜は遲いからと止めて、音五郎方に一泊の上、翌日朝飯を濟ましてからとも一緒に連立つて藤屋の別莊を訪れた。



案内の聲を聞きつけて出て來たのは例のお勝といふ女中であつた。

「お勝どん、お早う」

「おや與平のお爺さん、しばらくぢやアありませんか」

「與にお前さんたア一年振りだつたね、此節は別莊かい」

「はア、私のやうなやくざ者はね、本店のやうな忙がしい所ぢやアお役に立たないんださ」

「俺は摘み食の露見に及んだな」

「あら、口が惡いよ」

「結構ちやアないか別莊勤番御留守居役、晝寢三度々アな、エーお前、一件を知つてるか」

「一件ツて何？」

「ソレお孃さまの懸落した騒よ」

「へエー、お孃さまが……そんなことがあつて？知らないわ、私」

「そうか、イヤそれでもつて俺ア酷い目に遇はされつちまつたんだ」

お勝はぷつと失笑しさうになつたのを、强いて怺へて下つ腹を壓しつけてゐるその樣子が頗る變に見えた

「おや、どうした」

「あいたつたッ、き、き、急にお腹が……お〻痛」

「何、癪か、それや大變だ押してやらうか」

「ウッフッフ、ア、苦しいオツホツホ、た、堪らないアッハッハ」

音五郎は玄關側の軒下にたゝずんで與平の交渉が濟むのを待つてゐたが餘りに愚圖々々と手間取るのでもどかしさに突と這入つて來た。

「たい、與平さん、未だか早く娘に遇はして呉んな」

「と云つたつてお前、此の女中が癪を起してるちやないか」

「箆棒め、グラ／＼笑つし癪てのがあるもんか、氣が長えなアほんとうに」

セビロ
オーバ
コート
マント
トンビ
女學生オーバ
平町停車場通り
正札堂

廣告
痔の最高内服藥　ダイサン錠
鼻のクスリ　チクノール錠
平町五丁目角
山野邊藥局

平町田町
高久病院
電話五一三番

リウマチス、打撲、捻挫、神經痛
筋肉過勞の疼痛、カタの凝り
奏効的確神の如き
『ホシのアルファー』
本劑は作用强烈な藥劑で有りますから眼の附近鼻口腔の附近婦人の陰部等に用ひてはなりません、本劑塗擦する事に依つて如何に劇しき疼痛も何等の副用なく鎭靜させる事が出來ます。
定價　金三十九錢
平町三丁目（電話四二九番）
星チエンストアー
平郵便局隣り

御婚禮支度は三井へ
弊店は常に良品本位東都今冬の流行品を豐富に取揃へてあります別して御婚禮支度には特に力を入れました是非御用命下さい
江戸褄、丸帯、錦紗小紋
御召　繪羽織　訪問着
秩父夜具　銘仙　各種
平町
三井呉服店

學生外套入荷
中學用
二四丈　頭巾付　一一、〇〇
二五丈　同　一一、五〇
二六丈　同　一二、〇〇
二七丈　同　一二、五〇
二八丈　同　一三、〇〇
小學用
一八丈　頭巾付　八、〇〇
二〇丈　同　八、五〇
二二丈　同　九、〇〇
其の他マント、オーバ、トンビ
豐富入荷
あかや洋服店
平二（電二〇三）

寒サ愈々迫ル
新柄防寒具種々入荷致シマシタ
子供洋服　三圓より
子供ラシャオーバー　五圓より
婦人ショール　二圓より
婦人毛シャツ　二圓より
毛アンダー　二圓五十錢より
コットンシャツ　二圓二十錢より
壹圓均一ノ特價
ワイシャツ賣切レヌ中ニ
ツルヤ商店
平町四　電話百四十番

店員募集
今回平町を中心に仙臺、助川方面まで販路擴張の爲め平町の左記に出張所を開設し同時に左の資格を以て店員二名を至急募集いたします、希望者は御來談を乞ふ
一、經驗の有無を問はず
二、年齡廿歲以上の男子（但し保證人を要す）
三、身体强堅にして眞面目なる者
呉服問屋　島一商店
本店　埼玉縣入間郡所澤
出張所　平町新川町六（本間綿店）

支那料理開店
華香ランチ……五十錢
御土産
シウマイ折詰……五十錢
定食……壹圓より參圓迄
其他大勉强致し遠近に不拘即席御求めに應じます
南町舊郡役所通り（中の湯向ひ）
華香亭
電話（呼出）八二五番

内科、小兒科
花柳病科
入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平長五〇七番

電燈より接續してすぐ寫る
家庭活動寫眞
パテーベビー活動寫眞機
映寫器　八〇、〇〇
撮影器　六五、〇〇
フヒルム　一本　二、〇〇　二、五〇
生フヒルム　一本　一、〇〇
市内はお伺ひして御覧に供します
御申越次第カタローク進呈
平町二丁目
パテーベビー社代理店
西村屋藥舖
長電話三番

貸地廣告
平町郡役所より税務署附近の新開地に一千餘坪の貸地があります、然かも完全な土盛でありますから流失其の他の憂ひ絶對になく商店、諸工場並に高級の住宅地として最もの適地を極く安値にお貸しいたします
御希望の方は電話なり哉けば社員がお伺ひして親しく御相談に應じます
小名濱商事株式會社
平出張所
電話　六〇三番　五四一番

健康第一　健康は胃腸から
ホシ胃腸藥
クスリはホシ　星製藥株式會社　東京・大阪

地方の本店銀行を合同し 磐城昭和銀行を設立
地方財界恒久安定の爲め 有力者の輿論昂まる

平銀行の休業により更らに動揺を深めた本郡地方の財界は比較的平穏に各預金者は時の推移を待つものゝ如くであるも其の希望する常磐銀行との合併が萬一豫定期間たる一ヶ月を經るも尚ほ實現せざる塲合あつたとすれば一般預金者に及ぼす不安の念を深め獨り平銀行のみに止まらず因つて及ぼす影響甚大なるべきものあるは推察するに難からざるものあり假りに平銀行と常磐銀行との合併が可能なりとするも然かも平町が他の**地方銀行**にのみ支配される事は將來地方の由々じき問題であるから此の際平町に本店を有する平、磐城、磐越、實業並に四倉の各銀行を打つて一丸とし小異を捨てて大同に就くを得るならば更に内容の充實せる堅實な銀行が出現し以て地方の爲め喜ぶべきものがある、即ち現に東京の休銀を合同縮少して更生せる昭和銀行は其の後預金者との交渉により大口預金の据置き々條件に絶對迷惑を掛けざる堅實な營業をつゞけてゐる先例に

鑑み平町の之れ等本店銀行を合同せしめ資本の減資によつて磐城昭和銀行とも稱し堅實な基礎を造ることを得るならば預金者にも絶對迷惑をかけず地方將來の福音なりとして之の大同團結速進の輿論が有力者間に呼ばれて來た模樣である

賣却に決定した 町有地九百四坪
實業家に賣りたいと 伏見町長語る

平町では十九日町役場新築の第一回委員會を開いたが既報の如くであるが廳舍新築の財源は町當局が當初からの計畫通り町有地たる現役塲廳舍敷地三百六十三坪水道課敷地四百四十三坪田町大通り元平陽女學校（現磐城通信社）敷地百廿八坪合計九百四坪を賣却して此の新築資金に充當し尚廳舍新築は前記各敷地の拂下次第直ちに着工と決定したので町當局では町有地賣却を促進實現する事となつた此の敷地賣却に就いて伏見町長は

時恰度平銀行の休業に遭遇したので此の方にも多大な影響があるは勿論で賣却に就いては可成の困難は見るでせう賣却したいと思ふ町有地三ヶ所は何れも大敷地である事と一、二等地に相當する土地だけに此の不況時を見込んで賣急ぐ事はどうかとも思はれますが町當局の豫定額に達する範圍で出來得るだけ早やく賣却し廳舍の新築を速進せしめたいと考へてゐる尚賣却敷地は商店、會社、營業所等にも適してゐるが出來得る事なら何等かの事業を起して與れる大實業家に賣却したいものです、現に角資金に充當すべき敷地賣却の決定を見ない中は新築工事も着工する譯に行かない事ですから縣内の大實業家を始め事業家間に奔走し町當局最初の計劃した如く賣却問題も速に解決したいものです」云々と語つてゐた

全國にも類のない 自動車專用道路
山間部産業開發の爲め 開鑿特許出願

石城地方山間部の産業が遲々として發達せぬことは交通機關の完備せざるに起因するものだとこれが改善に就ては可なり以前より地方有識者間に論議され來つたが最近平町の某有志は平土木監督所の諒解を得ると同時に特許の出願をなし全國に全く類のない自動車專用道路を敷設して同地方の特産物の搬出或ひは物資の供給をなして産業發達の一助となすことに決定某方面の實測に着手したが自動車專用道路は自動車以外の交通機關は絶對に禁せられまた人以外の自動車も一定の料金を支拂はぬ以上通行を禁せられ從來の軌道と何等かはりないものであるが右につき土木監督所では語る

自動車專用道路は不便と危險の多い從來の軌道と比較してはるかに安全でありまた經濟的である現在わが國にたいては兵庫縣下に一ヶ所小規模の專用道路あるが極めて好成績を擧げてゐるからこんど石城郡三坂方面に出願された專用道路も相當の成績を收め得るものと思はれる專用道路は現在國縣道を利用することは全然出來ないので新に道路を開鑿するのであるから無論會社組織によるの外はなく資本も相當要するものと思はれる」云々

磐中生演習
植田勿來地方で

磐城中學校四五年生の發火演習が二十三日植田町及勿來附近で行はれる南軍は錦村小學校に北軍約百八十名は植田小學校に中食のため休憩するので植田町では慰勞の方法を講じると居る

郡選出縣議を動かし 藤原川改修運動
今度こそは是が非でもと 意氣込關係町村

石城郡磐崎村地内を貫流して小名濱町に流れる藤原川は毎年降雨の都度に氾濫して沿岸の農作物は甚大の被害を蒙つてゐるので關係町村に於ては多年此沿岸の改修工事に着手することを縣當局に對し陳情して來たが豫算の關係で未だ實現を見るに至らず爲めに沿岸の村民は縣會も目前に控て居るので種々協議をなした結果十九日村民の代表者が本郡の選出古川、野崎、若松、等の各縣議を訪れこれが改修工事實現に付いて說明する處あつたが同地方では是が非でもこれが實現を圖るべく大運動をおこすべしといきまいてゐる

平町水道 委員會
次回は廿二日

平上水道擴張工事委員會本會議は二十日午前十時から平町役場會議室に於て開會豫算その他を附議委員に於ては單に豫算或ひは設計書のみ配布されも技術的說明がないので具体案を作成することが出來ないから上水道擴張に關する一般の技術的說明を求め然る後協議をなすことが適當であるとし河野課長に對し說明を求めたので課長からこれに對する說明があつて二時閉會したが次回委員會は二十二日の豫定

良好な 磐城蒟蒻
値段もよく 當業者大喜び

石城郡の山間部落である田人、上遠野地方より東京方面の市塲に移出して毎年好評を博してゐる磐城蒟蒻粉は昨今漸く收穫期に入り結果は昨年より極めて良好で取引も比較的高値を呼んでゐるが相塲は玉一貫目四十四錢見當製粉一貫目四圓二十錢であるが何れも昨年より玉にたいて十錢粉において一圓二十錢の暴騰を示し地方仲買人は非常に喜んで居る

菊花大會延期
更に廿六日迄

平町の菊花大會はさる五日の開塲以來同地はじめての菊人形などに多大の人氣を呼び殊に十日の御即位禮當日の地方賜饌當日の如き塲内人を以て埋まる盛況を呈し大成功裡に昨二十日までの會期を了つたが未だ各出品とも好事家の鑑賞に資すべく充分なものがあるので各方面の希望もあり更に會期を延長し二十六日まで一般の縱覽に供する事となつた

秋刀遠のく
氣温が降り 不漁の原因

石城郡各濱は先月末頃から俄にサンマが不漁になつたので小名濱町縣立本縣水産試驗塲磐城丸は此不漁原因調査のため石城沖合に向つてサンマ漁塲の調査を行ひ此程歸港したが其調査に依ると水温が俄に低下し例年の十八、九度の平均温度に比して約一二度低下してゐる結果サンマ群が浮游しない由であるが最近天候不順で寒氣が俄に降り石城地方は例年より十日間も早く結氷を見た程であるから此天候が恢復すれば潮流も直り再びサンマ群が現れるものと豫想し各濱の漁船は何れも出漁をなしつゝある

喧嘩腰で行くよりはと 碎けた村の態度
陷沒の磐崎村藤原で 愈平和的の交涉

昨報石城郡磐崎村大字藤原松本地内の陷沒に就いては地下採掘に原因するものであるといふ村側の見解に對し會社側では大体これを否認し俄にこれが責めに任する氣勢も見わず双方共專門家の鑑定により學術的の研究を以て對抗し相當紛糾を免れぬものと觀られてゐたが村側ではこの際權利義務四角張つた論法を以て進むよりは寧ろ談笑の裡に圓滿なる解決を期するがその收獲却て見るべきものがあるといふ碎けた態度をとるに至つたものゝ如く直にこの方針に基いて進むべし最近藤原區長矢内彦次郎氏方に酒井村長外四名の者が會合協議の結果會社との間に平和的の交渉を進むる事となつた、因に該問題の解決如何は目下元入山坑務所長吉本眞一氏と所轄仙臺鑛山監督局との間に從參加の湯本町が加はり玆許三つ巴となつて猛烈繁爭中なる湯本地下採掘問題の向背にも少からず實例を示す事ともなるのでこれが成り行は時節柄多大の注意を以て迎へられてゐる

大和田醫院

娼妓こかけ落

北海道小樽市中野町貸座敷柳田市次郎方抱娼妓田中そく(三七)は馴染客同町石工伊藤清一(三二)と十二日夜前借金一千二百六十七圓を踏倒し逃走したが男が本縣生れとて國元に潜伏してゐるかも知れないと平署に捜査方願ひ出づ

天中軒友月來る

浪界一流の美音の家天中軒友月師は來る廿三日午後六時から平町聚樂館に得意の長講を演んじ地方愛浪家に參見る事となつたが非常な人氣を呼んでゐる

バクチ一件

石城郡内郷村字綴波多野仙太郎(六二)方に平町長橋町古物商小野清松(六〇)內郷村小島岩田うん(五八)が集合十九日午後四時ごろ花札賭博を開張中平署員に逮捕された

獲物が少いので 獵天狗連悲觀
小鳥類雉山鳥共も 亂獵密獵の祟り

狩獵期節に入つてからの當地方の昨今はハンチングにゲートルと言ふ輕裝をし獵天狗連が三阪澤渡等の山間部を賑はしてゐるが例年ならば狩獵の最盛期である昨今、今年はどうした譯か雉山鳥類は勿論一般小鳥類も頗る不獵で呑氣者の集りのやうに見られてゐる、獵天狗連も一樣に悲觀してゐる、此の不獵に就て平署では「解禁當時の狀況は小鳥類の繁殖も左程に惡くはない樣で例年晉みの獲物があるものと豫想されてゐたが過般平獵友會主催でやつて狩獵大會の如き七十餘名の獵天狗が未明から驅廻つて雉、山鳥各一羽を獲つた者が僅に一人だつたと言ふ不成績さで此れは獵天狗の腕が惡るいのではなく獲物が少い結果だらうと思ふ、獲物が少い原因は今年の天候が著しく變調だつた事も多少の影響はあつたらしいが何んと言つても亂獵密獵に依つた事が事實であるらしい現に角力瘤を入れてゐた狩獵家連も大分悲觀してゐる狀態だ」云々と頗る獵天狗連に同情を寄せてゐたが平獵友會では御大典奉祝も明けたので愈々會員總出動で近く最後の大馬力を掛ける筈である

研究講座
各家庭の常備藥
高久病院長

消化器系統の病氣は夏に多く呼吸器系統の病氣は冬に多いといふ事は、今日では一般の人々の知られる處でそれらに對する豫防法や**手當**についてはかなり一般的に進んで來てをりますが、さう云つてもまだいざとなると何ういふ藥を家庭に備へておいたならいゝかといふ事は本當によくわかつてゐない人が澤山ある樣です、そこで、これからの寒さに向ひ冬の家庭の常備藥として何ういふものを用意しておいたらいゝかについて一通り述べてみたいと思ひますが、今日では從來のものよりいゝものが澤山出來てをりますから藥の**選擇**といふ事も大切なことであります、これから一番多いのは鼻かたる俗に云ふ鼻感冒です、寒くなるにつれて、よし雨の降つても土壤に浸潤してゆく量が少くそこへもつていつて風が強いといふ事が直に空氣を乾燥さしてしまひます、又室内などにたいても煖房の關係からとかく空氣か乾燥しやすい、さうした結果鼻かたるにをかされやすくなるのであります、でこれを**豫防**するには第一に鼻粘膜の乾燥を防ぐ事でありますがそれにはユーカリ油、硼酸、クロールナトリウム、メントール等調合劑ナサールオエントメントといふ軟膏藥を一日數回鼻の中に挿入塗布するとよろしいです、殊に鼻の弱い人は必要ですが之は豫防にもよく又治療にもいゝのであります、鼻感冒のやゝすゝんで熱のあるやうな場合はピラミドンの錠劑を一回三個を限度として一日三回服用しますと大抵の**感冒**はよくなります、この藥は劇藥で一錠〇一の含有量でありますから三個以上數多くのむ事はよろしくありません、感冒も悪性のインフルエンザの如きものである場合は、ピラミドンでなく臭素とキニーネの配合劑であるグロームキニーネを一回一錠づゝ一日數回服用いたします又同じ感冒でも氣管支かたる症狀になり咳の出る場合は獨逸製のベルツシ（非常にのみよいシャリベツ劑です）を一匙一回を一日三回**服用**します、又フハイシターハネといふ米國製のシャリベツ劑もありますが、これは氣管支カタル百日咳等によろしいものです、尚これからはぜんそく患者の苦しい時ですが、これには心臟性のものと氣管支性のものとありますが、何れのぜんそくにしてもどムロツド、アスマ、キュアーといふ粉の燻煙ざいが一番いゝ樣であります、使用法は閉鎖してある室であれば一つまみか二つまみを炭火の中に落として、その**燻烟**を鼻や口より吸入するのであります、しかし日本の家庭では如何に閉鎖しても煙がにげますから、炭火の上に藥を落しまして、その近くに顔をよせ煙を他に逃がさぬ樣にして鼻や口から吸入します、これを一日三回位いたしますと發作時に用ひますと特に效果があります、それから最近獨逸製のカラシボといふパイプがあります、これは獨逸の醫學者カップ博士が多年の實驗の結果造つたもので、酸素療法の**學說**に基づいてメントールチモール等を主成分としそれに芳香油を併せて造つたもので用法は鼻や口からパイプを吸ふものですが鼻かたる咽喉かたる氣管支かたる等傳染性の病を防ぐためによく、人混中に入る時や事務勉學の時或は喫煙家などが常に携帶してゐるとよろしいです、これは一つのパイプが一ケ年有效であります（文責記者）

日活超特作大好評第二回苦笑篇

清水次郎長

河部五郎　酒井米子　葛木香一　高勢實

當ル廿二日ヨリ堂々上映!!

松竹茂特作　主演 林長二郎　千早晶子　要操　坪井哲

御用船

監督 衣笠貞之助

德川五代北陸松平藩に於て起りし陰謀渦巻く大劍戟

松竹蒲田超特作　國民新聞連載小說　原作 畑耕一　監督 野村芳亭

社會劇 毒唇

岩田祐吉、松井千枝子、奈良眞養、八雲恵美子、小櫻葉子、高尾光子

日曜七日 學生デー

平館

當ル廿二日ヨリ堂々上映!!

新築移轉

耳、鼻、咽喉科

合津醫院

平町仲田町七一（電話五五九）

X光線 外科專門

入院隨意（自炊の便あり）

平南町

上田外科醫院

電話一二九

良品廉賣に勝る商略なし

磐城平町五丁目

磐城セメント株式會社特約代理店

和洋銅鐵金物問屋

（久）釜屋商店

諸橋久太郎

電話九番 一三九番

振替貯口金座東京一〇九五六番

確實敏捷は（久）の生命なり

食用鳩（カルノー ホワイトキング シルバーキング）

ブリユウセキセイ　オカメインコ

アカボタンインコ　カルカヤインコ

ダルマインコ　小紋鳥

一紅鳥　錦花鳥

白文鳥　白十姉妹

脊ノコリ　小斑

平町田町本通り

ベニヤ小鳥店